

令和5年度 活動の記録
(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

自然災害から身を守ろう！



(2023 岩手の土砂災害写真パネル展；展示作業終了後の主催者)

令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生しました。観測された津波は高さ3m以上、大規模斜面崩壊は100箇所以上、200人以上の犠牲者と7万棟を超える住家被害、広範囲にわたる停電や断水など、大災害となりました。被災地の早期復旧と犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

業務実施の方針

令和5年度は昨年に引き続き、次の方針で事業を実施しました。

- ・調査研究、提案、研修活動等を通して、組織活動の活発化を図る。
- ・地域の問題解決を図るため、他団体からの受託事業を円滑に実施し、積極的な事業展開を図る。

活動概要

本年度は土砂災害写真パネル展を主体に活動しました。また、毎年開催されている土砂災害防止研修会へも参加しました。

写真パネル展は今回も岩手県砂防災害課と共同で開催しました。新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類移行後、初の開催となりました。県内や西日本で発生した土砂災害状況等の写真パネルや県内小中学生が作成した土砂災害防止啓発ポスターの展示、土砂災害映像や説明ビデオの上映を行いました。

今年も岩手県や市町村職員をはじめ、多くの方々にご協力いただき、活動を続けることができました。改めて感謝申し上げます。

実施した事業および主な活動

【2023 岩手の土砂災害写真パネル展 ～みんなで防ごう土砂災害～】

実施日時：令和5年6月1～12日 9:00～17:00

実施場所：岩手県庁1階県民室

写真パネル展は、今年も岩手県県土整備部砂防災害課との共催により土砂災害防止月間である6月に開催しました。

今回は平成25年～令和4年の間に、県内や広島、熊本、大分で発生した地震や豪雨による土砂災害状況写真パネル22枚と、土砂災害の特徴や早期避難を説明したパネル3枚、北上市・八幡平市・宮古市の小中学生による土砂災害防止啓発のための絵画作品4点（コンクール最優秀賞、優秀賞、特別賞受賞作品）を展示しました。

また、平成28年北海道・東北豪雨と令和元年東日本台風による県内被災地の空撮映像や災害状況（国土交通省制作）、早期避難を呼びかける県政テレビ番組「土砂災害から身を守ろう！～防災意識を持ち早めの避難を～」(いわて！わんこ広報室)をモニター上映しました。



◆ 新たに作成したパネル3枚のうちの1枚

令和4年 葛巻町小安孫沢土石流

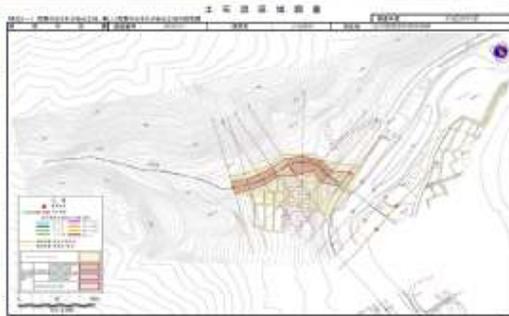
令和4年8月3日に停滞した梅雨前線に伴う降雨が発生し、葛巻気象観測所で連続降雨量127.5mmを観測した。過去30年（1991年～2020年）の8月平均降雨量は157.1mmであり、一日ではほぼ一箇月分の降雨量が生じたことになる。8月3日の時間最大降雨量は午前8時に30.0mm/hを観測しており、降雨により8月4日午前8時頃に土石流が発生した。



位置図



土石流全体図・写真番号図



土砂災害警戒区域図



沢の出口付近では、土石流による大小の礫からなる流出土砂が溢れ、県道を埋塞した。

上流状況



流出土砂は流路から溢れ、水路施設沿いに被害を与え通路を埋塞した。



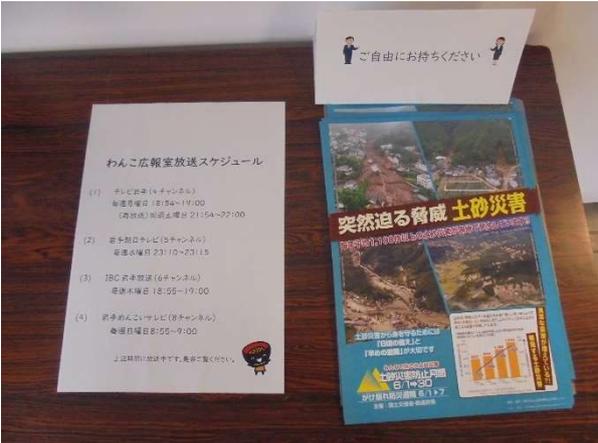
土石流は人家の中に流入したが、幸いにも人的被害は免れた。

上流の渓流



渓流沿いには、大小の礫を主体とした不安定土が堆積している。

◆ 展示状況



2023 土砂災害写真パネル展開催にあたって

岩手県では厳しい自然条件から、洪水・土砂災害・地震や津波・火山噴火・雪崩災害などの自然災害が多く、県民は長年にわたりこうした自然災害の被害を受けています。その中でも土砂災害は、奪い人命や財産が一瞬にして失われる可能性が高く、今もって予知予測が困難な災害です。

岩手県内では、ここ近年だけでも平成14年(2002年)7月の台風6号による釜石市土石流災害、平成20年(2008年)6月の岩手・宮城内陸地震、平成25年(2013年)8月の秋田・岩手豪雨災害、平成28年(2016年)8月の台風第10号災害など、地震や豪雨で多くの犠牲者を出す土砂災害が発生しております。とりわけ令和元年(2019年)10月の東日本台風(台風19号)は本県の三陸沿岸の市町村に記録的な豪雨をもたらしました。本県に98件もの土砂災害が発生し犠牲者も出ております。本台風では岩手県以外にも宮城県、福島県、関東地方などに被害をもたらし、952件の土砂災害(全国計)が発生し、台風に伴う土砂災害としては過去最多となりました。さらに、19年(2021年)7月の死者・行方不明者27名もの犠牲者を出した静岡県熱海市伊豆山の土石流災害はあらためて土砂災害の脅威を痛感させられました。昨年(2022年)も山形県等で犠牲者を伴う斜面崩壊が発生するなど全国で795件もの土砂災害が発生しています。

このように激甚化する土砂災害に対して、こうした土砂災害に対する砂防堰堤などの施設整備は全国的に遅れています。岩手県も同様で、県民が「安全で安心して暮らせる」ための社会資本整備は、まだまだ時間がかかります。今後は、住民自ら正しい防災の知識を持って危険を察知し、自主的に避難することが重要であると考えています。

災害写真は、県内の土砂災害の被害状況や防災関係機関の取り組み等を紹介し、一人でも多くの県民の方に、防災に対する理解と意識を持ってもらうことを目的に開催しています。被災に向けて少しでもお役に立つことができると考えています。

近年全国的にみても気候変動や地震活動の活発化で、いつ・どこで・どのような災害が起こるか分かりません。これまでの災害から学び、今後の災害に備えたいものです。また、学校教育の場などかつ地域でどのような土砂災害があったかを、紹介し継続的に伝えていくことが望めます。

最後に、災害写真展を開催するにあたって、ご支援くださいました岩手県砂防災害課ならびに、写真をご提供くださいました関係各位に厚く御礼申し上げます。

2023年 6月
特定非営利活動(NPO)法人 防災ネットいわて
理事長 井良良 道也

【新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」について】

岩手県はこれまで公表していた1万4千箇所を超える土砂災害のおそれがある区域について、令和2年3月にまでに基礎調査を終わらせ、1万3千箇所余りを土砂災害警戒区域等に指定しました。しかし近年、人的被害を伴う土砂災害のうち、約2割が警戒区域外で発生していることが明らかになっています。

このような状況から県は、高精度な地形情報に基づいた新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を抽出し、令和4年と5年に合わせて9,992箇所公表しました。

市町村毎の区域指定数及び新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」箇所数表

市町村	土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」			市町村	土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」		
		令和4年度公表箇所	令和5年度公表箇所	計			令和4年度公表箇所	令和5年度公表箇所	計
盛岡市	576	231	130	361	住田町	497	23	192	215
滝沢市	30	30	0	30	遠野市	580	160	120	280
雫石町	142	32	29	61	釜石市	1,027	162	25	187
紫波町	110	22	12	34	大槌町	433	101	10	111
矢巾町	9	13	0	13	宮古市	1,259	528	235	763
葛巻町	346	28	141	169	山田町	372	197	0	197
岩手町	240	26	122	148	岩泉町	946	90	315	405
八幡平市	153	42	66	108	田野畑村	164	88	0	88
奥州市	787	488	214	702	久慈市	614	122	346	468
金ヶ崎町	62	30	2	32	普代村	75	59	0	59
花巻市	526	483	240	723	野田村	46	32	0	32
北上市	249	73	76	149	洋野町	103	61	48	109
西和賀町	191	40	31	71	二戸市	388	108	128	236
一関市	1,160	1,814	1,374	3,188	軽米町	136	0	191	191
平泉町	95	97	2	99	九戸村	88	0	84	84
大船渡市	921	263	3	266	一戸町	295	66	188	254
陸前高田市	685	159	0	159					
					合計	13,305	5,668	4,324	9,992

出典：岩手県ホームページ（岩手県公表資料）

詳細な位置は県のホームページから、下記の順でクリックすると確認できます。

トップページ > 県土づくり > 河川・砂防・土砂災害 > 土砂災害 > 土砂災害警戒区域等の位置図

【防災ネットいわて事業活動報告・情報交換会】

令和5年3月24日、ホテルメトロポリタン盛岡にて事業活動報告会および情報交換会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、令和3～5年通常総会などの会議は書面開催を余儀なくされてきましたが、ウイルス対策が緩和されることから対面での報告会と情報交換会を実施したものです。

井良沢理事長からは土砂災害防止に係る普及啓発活動の最新動向について、情報を提供していただきました。



令和5年度 活動の記録

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

令和6年2月26日 発行

編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20
TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892
E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp
URL: <http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni>